



機能評価委員会から授与された表彰楯（前列中央）を囲む健診室スタッフ一同
時節柄、集合写真撮影ではマスク着用です

- **特集** 丹南で初めて機能評価認定された健診室のご紹介
- **健康コラム** COVID-19 ワクチン接種は進んだけれど…
- **これが私の自慢です**
- **定番おかずをひと工夫** きのこ

 医療法人 林病院

〒915-8511 福井県越前市府中一丁目3番5号
電話. 0778-22-0336 FAX. 0778-23-4014
e-mail. info@hayashi-hospital.or.jp
URL. <http://hayashi-hospital.or.jp/>

理念

わたしたちはあなたとともに
納得し安心してうけられる
質の高い医療をめざします

基本方針

患者さんの権利と尊厳を大切にした医療を行います
地域の中核病院として急性期医療を行います
地域の医療機関と連携し切れめのない医療を行います
在宅復帰のための回復期医療や在宅支援サービスを行います
健康長寿をめざした予防医療を行います

特集

丹南で初めて機能評価認定 された健診室のご紹介

林病院は、5年前に電子カルテを導入し、2年前に新病院に移転しました。新病院は耐震基準を満たしています。移転に際してCTやMRIなどの高度検査機器も新型に更新しています。そして向かいにある越前市役所が新築され駅前道路も整備されて半年が経ちました。病院も周辺環境も大きく変わりました。その中であって、患者・受診者の皆さんに頼っていただける病院であり続けるためには、私たちは何を変え、何を堅持しなければならないかを考えてきています。

この号では、疾病の診断や治療以外の病院の機能である健診についてご紹介します。林病院健診室は病院の2階にあります。平時の健康状態の確認による健康の維持・増進や症状が出る前の注意す

べき点のを見つけ出しを目的とした諸検査を行っています。健康を総合的に確認する人間ドックや法令に対応する健診、さらには特定の項目に特化したものまで対応が可能です(表1)。加えて、就学児童から後期高齢者までを対象とした疾病予防を目的とした予防接種もお受けしています(表2)。

林病院は15年前に病院機能評価認定を取得し、その後、5年毎に3回の更新をしてきています。しかし、この評価認定において健診は対象外でした。健診室は2011年に10周年記念事業を行い、2016年の病院の電子カルテ導入時には、健診室も電子カルテに移行しました。これにより希望者の方の健診から一般診療への橋渡しがスムーズに行えるようになりました。次に、保健指導を常に

表1 林病院の主な健診コース

総合的な健診	人間ドック
法令に対応する健診	定期健康診査
	雇入時健康診査
	渡航前健康診査
	帰国時健康診査
	特定健康診査(深夜業務従事者)
	特殊健康診査(電離放射線取扱者など)
	塩化ビニル健診(労働局健康管理手帳)
	法定特定化学物質・有機溶剤・鉛
	石棉・じん肺
	聴力検査(騒音)
その他健診	VDT検査(情報機器作業)
	特定健康審査(国保・支払基金)
	救急救命士免許申請・研修時健康診査
	看護師採用試験用健診
個別検査 (オプションとしても追加可)	警察学校採用試験用健診
	入学前・入学時健診
	各種抗原・抗体検査
	がん検診(肺・胃・大腸・乳腺・子宮・各種腫瘍マーカー)
	便培養検査(O-157・ノロウイルスなど)
	脳ドック

必要な項目を組み合わせた健診とすることも可能です
(例)人間ドック+脳ドック、雇入時健康診査+B型肝炎ウイルス抗原検査

表2 林病院の主な予防接種

おたふくかぜワクチン
水痘ワクチン
麻疹ワクチン
風疹ワクチン
麻疹風疹(MR)2種混合ワクチン
BCGワクチン(結核)大人への有用性は実証なし
A型肝炎ワクチン
B型肝炎ワクチン
インフルエンザワクチン
子宮頸がんワクチン(ガーダシル)
狂犬病ワクチン
破傷風トキソイドワクチン
ジフテリア破傷風(DT)2種混合トキソイド
百日ぜきジフテリア破傷風トキソイド不活化ポリオ(DPT-IPV)4種混合ワクチン
日本脳炎(ポリオ)ワクチン
肺炎球菌ワクチン(ニューモバックス)

新型コロナワクチンは現在市販されていないのでこの表には記載されていません。



行えるように保健師の体制を整えました。当日の保健指導により医師の結果説明後に日常生活でどのような注意をすればよいかなどをより具体的に理解していただけるようになりました。2019年の新病院移転にあたっては、健診室は健診室外での検査などがあっても基本的に同じ階内で行える設計とし、一般診療の外来患者さんとのクロスを最小限とする工夫をしています。そして、新型コロナウイルス流行に配慮しながら今年1月に人間ドック健診施設機能評価を受審しました。受審準備期間には、質向上に向けてすべきことの確認を行い、連携する多くの他部署から大いに協力をいただきました。孔子は「道が同じでなければ人は相談しない」と言っていますが、目標を共有出来たことは極めて有用でした。この他部署との連携の良さも審査では高い評価を受けました。この人間ドック健診施設機能評価認定(写真1)は福井県で3番目、丹南地区で初めてのものです。一般医療法人としても初めてです。認定取得後まだ半年ですが、

運用の方向性の正しさを確認し、日常実務でもスタッフの自信となっているように感じています。この審査に関連して、林病院健診室は単に機能評価の認定を受けただけでなく、機能評価委員会から新規受審機関として年間において全国で唯一一つの健診機関に与えられる特別表彰を受け、第62回日本人間ドック学会学術大会において特別企画セッションで発表の機会を与えられました。受診者の方があっての認定であり受賞です。これからもこの成果を地域の受診者の方々にお返ししていただけるように努めます。この10月からは人間ドック受診者を対象に健診室20周年記念として心ばかりの企画も始めています。

最後に一句。「マスクして 我と汝で ありしか
な」 皆さん、頭の中で「プレバト」(テレビ番組のタイトル)して、「林先生、才能なし、凡人」なんて、考えないで下さい。この句は、俳人、高浜虚子の句です。ここで使われている「マスク」は、冬の季語です。しかし、マスクがもはや冬の季語とは思えない光景が続き、2度目の秋を迎えています。のびのびとした活動が出来る季節を待ちながら、健康の維持・増進のお手伝いをさせていただいています。

健診室担当医師 林秀樹



(写真1) 人間ドック健診施設機能評価認定





COVID-19ワクチン接種は進んだけれど…



政府は変異型名称に2021年6月2日から国名を使わず、WHO（世界保健機構）の方針に従って、特定の国に対する偏見や風評被害を防ぐため、英国型をアルファ、インド型をデルタと呼ぶことになりました。そして新型コロナウイルスの主流はデルタ型になりました。やはりと言うべきか、当初95%の感染予防効果があると謳われていたワクチン効能が、デルタ型出現後は前号コラムで述べたように「未だある」になり、最近では時間の経過と共に88%から64%程度まで下がってきたようです。

そうは申しまして、COVID-19なる感染症に対しては、いわゆる対処療法はありますが、これと言った決定的な治療法がありません。我々に来ることは社会的な行動制限を除けば、残念ながらワクチン接種と隔離を含めて個人防御策のみです。医学は進歩したと信じていましたが21世紀に入ってこのような事態になったことに理不尽さを覚えます。

さて5月から本格化した日本でのワクチン接種については、ワクチン供給不足などでかなりドタバタしましたが、それでも65歳以上高齢者（約3650万人）の89%は2回目接種が完了したようで、2回接種修了者は全人口の53%になりました。

世界規模で比較しますと、スペイン77%を筆頭に、中国70%、英国、フランスなどの西欧諸国が60～65%、米国が54%、ブラジル37%、インド14%と続きます。もう一息と言ったところですが、安心はしておられない事実が明らかになりつつあります。世界最速でワクチン接種を進めたイスラエルの事例です。昨年12月から接種を開始し国民の6割程度接種が完了した5月末の時点で、マスク着用を含めて行動規制の大半を解除しました。一時期ほとんど新規感染者が見られませんでした。その後急増し8月1日からは

3回目のワクチン接種（ブースター接種）を開始しました。WHOは途上国でのワクチン接種を優先させるべきだと反対していますが、米国、ドイツ、フランスそして日本も3回目接種に前向きなようです。

ここで少し当院のことに触れておきます。2020年5月から内科医師や感染対策室が中心となり「COVID-19 対応マニュアル院内感染拡大防止に向けて」を作成し準備を進めてまいりました。2021年4月から福井県の病床確保計画見直しに従い、この8月福井県での感染者数が急増した時点でコロナ感染者の受け入れを開始しました。この県保健センターからのコロナ患者さんとは別に新聞でも報道されていますように、9月に入り他院からの転院患者さんを含めて3名のコロナ患者が発生しました。その3名の方から筆者自身改めて多くのことを学ばせて頂きました。

- ・ コロナ感染に特有の症状は全くなくてもPCR検査をすると陽性で、ウイルスを伝播し感染を拡大させる。
- ・ デイルームでの食事時に感染したと思われるが、両隣の人（ワクチン接種2回済み）には感染せず、離れた席の人（ワクチン未接種）に感染した。
- ・ ワクチン接種を2回済ませていても感染することがある。

以上の3点です。現在、感染対策室スタッフを中心に病院職員一丸となって、早期収束に向け、厳しい感染対策を継続しています。

最後にまとめます。

1. 無症状の方でもウイルスに罹患しており、感染を広げることがある。不顕性感染・隠れ陽性患者の存在。
2. ワクチンは有効であるが、絶対ではない。
3. 当分、マスクは必須。

（医師 山本信一郎）

これが
わたしの
自慢です

休日時間の過ごし方

「休日時間の過ごし方」これが長年、私のテーマでした。休日はいつも、TSUTAYAでDVDを借りて見たり、グーグルマップを開いて仮想散歩をしたり、食べログを眺めては、点数の高いお店をメモすることにあげていました。何か人に言える趣味を見つけないと思うようになりました。

まず始めたのが、患者さんに習慣的な運動を勧めている立場としては、身体を動かす趣味でした。ミーハーな私は、モデルさんや女優さんがしている人の多いヨガに興味を持ちました。しかしいざ入会し、教室に行くと、どの方が先生か分からないほど、抜群のスタイルをもつ素敵女子が部屋に溢れていました。圧倒され、隅の方でこそそ始めては見たものの、周りの方が簡単にできているポーズが、身体が硬すぎて出来ない。頑張って、身体をねじっていると、先生から肩をたたかれて、「無理しなくていいよ。」と言われる始末。そんなことが続くと、続けようという意欲がなくなってしまいました。

そんな時に出会ったのが、フラワーアレンジでした。体験で教室に通ってみると、周りは私より年上の方ばかり。どんなに私が周りの方と違うアレンジを完成させようが、「若い人の感性やね。新鮮で勉強なるわ。」と言われ、最近若いと言ってもらえることの少なくなった身としては、それだけでも続けていく意欲がわいてきます。そんな意欲でも、続けて5年がたちました。花の名前は未だに覚えられませんが、唯一覚えたのがオアシス（吸水スポンジ）。最近100円ショップなどで売られており、これさえあれば、簡単にフラワーアレンジを作ることが出来ます。お花がある生活は、まるで自分まで素敵になったような気分にさせてくれます。皆さんも機会がありましたら、ぜひお試し下さい。

（栄養科 杉本）

仕事だけでなく好きなことを見つけると、毎日いきいき過ごせます。皆さんも何かやってみましょう。



～きのこ～

秋は「実りの秋、食欲の秋」といわれており、きのこは秋を代表する食材の1つです。

きのこには松茸のように秋ならではの物もあれば、椎茸やえのき、しめじなどのように1年中食べられる物もあります。ヘルシー（低エネルギー）で食物繊維が多く、ダイエットに向いている食材というイメージを持たれている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。きのこにはそういった面だけではなく、様々な効果のある栄養素を多く含んでいます。上手にきのこを食事に取り入れて、栄養バランスの良い食事を心がけましょう。

「きのこ」の栄養的特徴

- ①エネルギー（カロリー）が低い。
- ②食物繊維が多い。（腸内環境を整える、便秘の予防・改善、血糖値の急な上昇を抑える、コレステロールの吸収を抑える、といった効果がある）
- ③ビタミンB1、B2、Dなどのビタミン類やカリウム、リンなどのミネラルが多い。
- ④以上の他にも、病気の予防・健康維持が効果あるきのこ特有の健康に良い成分が含まれている。
βーグルカン、エルゴステロール、キチン、トレハロースなど。

いつもの舞茸を一工夫

豚肉と舞茸の中華風炒め

材料 / 1人分

豚こま切れ肉 …… 70g
舞茸 …… 30g
チンゲン菜 …… 50g
玉ねぎ …… 40g
片栗粉 …… 大さじ 2
サラダ油 …… 大さじ 1
＜合わせ調味料＞
砂糖 …… 小さじ 1
醤油 …… 大さじ 1/2
水 …… カップ 1
オイスターソース …… 大さじ 2

作り方

- 1 舞茸は食べやすい大きさにさく。玉葱は横半分切り、2cm 幅に切る。チンゲン菜は一口大に切り、芯と葉に分ける。
- 2 フライパンにサラダ油を熱し、豚肉を加え、火が通ったら、玉葱と舞茸を加え、片栗粉をふり入れて炒める。



- 3 ②に合わせ調味料を加え、蓋をして4分煮る。さらにチンゲン菜の芯を加え、蓋をして2分煮る。
- 4 ③にチンゲン菜の葉を加えて2分煮たら出来上がり。

診療案内

受付時間

月～金曜日
8:00～12:00
土曜日
8:00～11:00

外来診療開始時間

月～土曜日
9:00～

休診日

土曜日午後、日曜・祝日

救急患者様は常時受け入れます

医師一覧

整形外科

大塚 和史
武井 大輔
竹内 久貴
森實 一晃
野尻 正憲
高橋 寛
新井 隆三
貝澤 幸俊
西谷 江平
安藤 麻紀
池崎 龍仁
室谷 好紀

脳神経外科

佐久間 敬宏
東野 芳史
菊田 健一郎

外科

宮永 克也
千葉 幸夫
服部 泰章
山本 信一郎
多保 孝典
木村 哲也
佐々木 正人
前田 浩幸
嶋田 通明
恒川 昭二
林 秀樹

形成外科

山中 浩気

放射線科

村岡 紀昭
木下 一之
辻川 哲也
高田 健次
清水 幸生

内科

酒井 克哉
荒井 肇
森島 繁
濱田 卓也
堀澤 欣史
向井 萌
駒井 康伸
江口 智也
櫻田 麻希
岩崎 惇
李 尹河
田中 愛子
根来 英樹

呼吸器科

長内 和弘

内科(糖尿病)

西教 美千子

循環器科

酒井 克哉
森島 繁

内科

(リウマチ・血液)
岡崎 俊朗

内科(腎臓)

高橋 直生

内科(人工透析)

松田 哲久
迫田 和典

神経内科

人見 健文
糸数 隆秀

臨床検査

荒井 肇

消化器科

宮永 克也
服部 泰章
荒井 肇
多保 孝典
大谷 昌弘
土山 智邦
駒井 康伸
野阪 拓人

眼科

青木 朋恵
赤木 好男
大越 万理恵
折井 佑介

泌尿器科

稲村 聡

麻酔科

千葉 幸夫
石本 雅幸

健診・人間ドック

林 秀樹